

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製造業	木材・木製品	製材業	原木は11月までは用材の一部では強含みで推移していたが、12月に入り軟化傾向、弱含みに転じ始めた。順調な用材に対して秋需の勢いがなく、年明けの製品価格の下落に対する警戒感が背景にある。 一方、製品では新設住宅着工戸数、とりわけ持ち家着工戸数については10月まで11カ月連続で減少しており、製品市況は全国的に地合いが緩いまま、停滞感に包まれている。
	木材・木製品	製材業 (プレカット)	12月の実績は前年比75%となった。住宅の落ち込みが大きく、当分回復が見込めない状況である。製造コストも上がってきており、収益面で厳しい状況が続くと思われる。特に電気料金は大きく値上がりしており、11月の使用量は前年並みであったが、料金は前年の1.4倍になった。
	木材・木製品	木製品製造業	物価高、原材料仕入単価の上昇など、不安要素が多く、先行きが不透明である。
	印刷	印刷・同関連業	印刷業界は、値上げに対してそれぞれ工夫をしながら、できることを実行している。仕入価格の上昇とともに、人件費の増加が更に経営を圧迫している。
	印刷	印刷・同関連業	円安や原油高など、様々な要因からくる原材料の高騰が治まるところを知らず、1月からは洋紙の値上げの要請がきている。これまでの原材料費の高騰を販売価格に転嫁する動きを行ってきたが、度重なる値上げにより、クライアントへのお願いも困難になってくるのが予想される。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	12月は民間大型物件2件の納品が本格的となり、前年比大幅増となった。1月からも大量打設は続き、昨年以上の出荷、利益配当は間違いない。ただし、出荷増は特需といってよく、足元の効率化・集約化を粛々とすすめていく。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	先月の状況からすると大きな変わりはなく、昨年同月比89.7%となる。期末まであと4カ月であるが組合創設以来、最低の出荷となった昨年より悪くなりそうである。累計でも58.8%と悪い。今期は期末まで今の状況が改善される可能性は低い。更にセメント、砕石、砂などの原材料の値上もあり材料費高騰と出荷減少の二重苦となる。今年2月に続き2回目の価格改定を12月19日に実施した。
小売業	小売業	たばこ販売業	防衛費増額の財源としてたばこ税の増税がほぼ決定的であるが、平成10年以降既に計9回の増税を繰り返しており、直近では今年まで5年連続で増税を行っている。たばこ税は嗜好品の中で最も高い60%を超える税率となっており、取りやすいところから取るという安易な考えが繰り返し行われ、その度にたばこ耕作農家や小売店が甚大な被害を被っている。この20年間でたばこの販売数は3分の1に激減しているが、国・地方のたばこ税収は販売数量の減少分を増税で補う形で2兆円を維持している。たばこ税増税による値上げは一時的な税収確保にしかならず、たばこ離れを加速させるとともに、たばこ小売店を廃業へと追いやる結果となっている。
	小売業	小売商業	当月は年末商戦にて年間でも最も稼げる月であり、このコロナ禍での行政支援によるプレミアム付き商品券や歳末大売出しスクラッチ抽選券、まちなかイルミネーションと併せた独自の販促事業での歳末セールにより、一部不振店はあるものの、ほとんどの店舗が前年比10~15%の売上増となり、全体としては集客・売上共微増の状況にて推移した。地域商店街が疲弊する中で、行政・商工会議所のバックアップが心強く有難い。今後も連携して活性化に繋げたい。行動制限のない年末年始を迎えコロナの感染状況は今後懸念されるものの、経済優先への政府の方針を支持したい。
	小売業	LPGガス小売販売業	12月CP価格(サウジ通告価格)は650 ^{円/トン} (前月比+40 ^{円/トン})。11月MB価格(米国产平均価格)+(米国物流経費80 ^{円/トン})は520 ^{円/トン} (前月比△2 ^{円/トン})。対顧客電信売相場(11月平均)は143.48 ^{円/トン} (前月比△4.71 ^{円/トン})。中国のゼロコロナ政策により同国のエネルギー需要が低迷するとの見方から原油相場は下落。LPG価格は本格的な冬季需要期に入ったこと、また、米国产LPGを積んだタンカーがパナマ運河の混雑により入荷のタイミングが不透明であるとのことで若干上昇した。
	商店街	宮崎市	平日の通行量が少なく、高齢者の外出控えが続いている。
商店街	都城市	コロナ禍でなかなか開催できなかったイベントなどが一気に開催されるようになり街中にもぎやかになってきたが、今後またコロナの再拡大とインフルエンザが爆発的に増えると、以前のように人の足が遠のく可能性があるのではないかと心配が尽きない。原材料の高騰もなかなか落ち着きが見えず、各メーカーから数珠繋ぎ的に値上げの案内がきており、景気の減速に繋がるばかりである。	

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非製造業	サービス業	観光業	11月に続き12月も好調な滑り出しで、後半まで忙しい状態が続いた。通常であれば12月の初旬には落ち着く秋の繁忙期からすると、仕事量もかなり増えた。組合員もワクチン接種を積極的に行うなど感染症対策を徹底し、感染者もなく最後まで務めることができた。
	サービス業	自動車整備業	今月は車検入庫が1台もない組合員がいた。高齢、後継者不在で今月末で事業を縮小する組合員もいる。
	サービス業	不動産業	仕入価格の上昇で工事価格の上昇が懸念される。
	サービス業	測量設計業	当組合員においては、台風14号災害対応による忙しさが続き、また担い手不足も重なっていることもあり、年末繁忙期ならぬ、年間を通して繁忙期の状態となっている。
	建設業	管工事業	昨今の資材価格の高騰を受け、「単品スライド条項」適用の申請事例有り。新型コロナの感染拡大、病床使用率の上昇を受け、ライフラインである水道設備を維持管理するという組合と組合員の社会的責任に鑑み、1月開催予定の大人数での懇談会の中止を決定した。
	建設業	管工事業	中央会の補助事業を活用し、組合の新たなホームページを作成した。1月には組合員を対象にインボイス制度及び電子帳簿保存法の研修会を開催予定である。
	運輸業	軽貨物運送業	新型コロナウイルスの感染者の増加に伴い危機的な状況が続いており、年末の繁忙期に影響が出ている。燃料関係もまだまだ高止まりのまま推移しており、生活雑貨及び食料品の値上げもあり、苦しい環境での経営を強いられている。その他の貨物軽自動車運送事業者も同様に、打開策が見つからないのが現状である。高齢化も深刻であり、新規開業者の募集をしても効果が表れない状況である。このような状態が続くと、中小零細事業者は企業としての体力が無く、非常事態の入口に来ている気がしている。
運輸業	貨物運送業	原油価格は、世界第2位の消費国である中国の新型コロナウイルス感染拡大による中国経済停滞の懸念や、外国為替市場も円高ドル安が進んだことから下落したが、燃料油価格激変緩和対策による補助金の支給額も大幅に減額され、国内燃料価格は上昇し、組合員は困窮している。	